

# 沖縄平和行進

今回初めて、沖縄平和行進に参加させて頂き感じた事は平和という事は当たり前ではないと言う事です。平和行進中に私が見た物は、綺麗な沖縄の街並みの中急に現れる、どこから始まりどこで終わったのかもわからないほどの大きな米軍基地です。私達が行進したのは土曜日、比較的戦闘機は飛ばない日だと聞いていましたが二機見る事が出来ました。胸に振動が来るほどの轟音を響かせ、心配になるほど低く飛んでいるのを見て衝撃を受け、地元の人々の苦しみを感じ、私達が行進している大切さを学び、決して辞めてはならない、続けて行かなければならない行事だと参加させて頂き初めて感じる事が出来ました。

次の日は、ひめゆり資料館など戦跡を視察させて頂きました。つるはしで必死に掘った跡や、日本の軍人から怪我をして、足手まといだと自決をする為の手榴弾を渡され使った壕の中の本物の傷を見た時衝撃を受けました。文や人の話しだけでは、やはり想像しきれていかなかった物がそこにはあり、涙が出そうになりました。次の世代に伝える事も凄く大切でこの、私の文でどれほど伝えられるのかわからないので、ぜひ興味をもって頂き沖縄平和行進に参加して頂き、自分の目、耳で感じてもらいたいと思いました。命どう宝=「命こそ大切」だと心から思いました。私は港の仕事をして、特定利用港湾という、有事の時には人事ではない立場にいるので、この平和行進や勉強会に参加させて頂き本当にありがとうございました。

全港湾東海地方清水支部青年部 重兼貴之